

令和7年度 豊田市立青木小学校「学校経営方針」

本市の教育

多様な市民一人ひとりが自ら学び、地域と共に育ち合う教育の実現

【めざす人物像】

- ・生涯にわたって、自ら楽しく学び・育ち続ける人
- ・夢に向かって挑戦し、未来を切り拓く人
- ・豊田市の多様な魅力を分かち合い、次代へ継承・発信する人
- ・互いに認め合い、助け合いながら、共働によるまちづくりに取り組む人

学校の様子

- ・素直で明るい
- ・ルールを守る
- ・体を動かして遊べる
- ・上級生がやさしく、縦割り活動が充実している

- ・自ら考えたり行動したりすることが課題
- ・思いや考えを表現することが課題
- ・望ましい生活習慣の定着が課題

学校教育目標

心豊かでたくましく自ら学び続ける青木っ子

めざす子どもの姿

よく考え 真剣に学習する子

意欲的に学習に取り組み、学ぶ楽しさを実感するとともに、身に付けた基礎的な学力を生かして自ら考え、進んで表現しようとする

明るく 心の美しい子

約束を守り、マナーよく行動するとともに、誰とでも分け隔てなく思いやりをもって活動し、進んで認め合い、励まし合い、助け合おうとする

じょうぶで たくましい子

健康に関心をもち、困ったときの対処法を身につけるとともに、進んで体を動かし、栄養や睡眠に気をつけて過ごそうとする

めざす子どもを育む教職員の姿

それぞれの持ち味を生かし、創意工夫を楽しみながら児童の学習や学校生活を支え、児童の成長に寄与し、共に成長を喜ぶ

めざす子どもを育む学校の姿

「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を、家庭や地域と共有し、地域の一員として連携・協働しながら教育活動に取り組む

本年度の重点努力目標

つながりを大切にした「感動いっぱい」の学校 － あいさつ・思いやり・基礎基本 －

グローバル化や情報化等の加速度的な変化による予測困難な社会を生き抜くためには、自らの思いを実現しようとする意欲とともに、広い視野と確かな知識を基盤とした判断力、協働していく多様性が必要であり、その原動力は「自己肯定感」と考える。人とのつながりがあるからこそ「感謝」が生まれ、「助け合い」や「貢献」「自己実現」がある。つながりを大切に、日々の学習や学校生活を充実させ、学ぶ喜びやたくさんの感動を通して自己肯定感を高めていく。

取組の視点

五つのいっぱい・キャリア教育の充実

- ・「花いっぱい」「あいさついっぱい」「歌いっぱい」「気づきいっぱい」「汗いっぱい」の活動の充実
- ・「一本松」の視点による振り返りの充実

新しい学びの推進

- ・学習用タブレットの効果的な活用による個別と協働を意識した学習の推進
- ・デジタル・シティズンシップ教育の充実

つながりを大切にした活動の推進

- ・地域学校共働本部との連携による地域ぐるみの学校づくりの推進
- ・地域資源の積極的活用
- ・情報発信の工夫

安全・安心な環境づくりの推進

- ・安全、安心に配慮した環境整備
- ・専門機関と連携した心身の健康の充実
- ・主体的で創造的な教育活動への挑戦